

住民と議会をつなぐ

すみた 議会だより


No.189
令和7年
4月25日

「一足お先に笑顔が満開!!」

《世田米保育園》関連記事20P

3月議会のあらまし

町長施政方針ピックアップ ②

予算審査特別委員会

多様な町民生活を応援 ⑤

一般質問 6人が登壇 ⑨

特集 住田高校生との意見交換 ⑪

岩手県住田町議会



町民一人一人と歩む 全世代が安心して 暮らせるまちづくりを

第8回定例会 (3月議会) あらまし

町長施政方針

2025ピックアップ!

子育て

産後ケアを推進

産後の母子に対して心身ケアや育児のサポートを行い、安心して子育てができる支援体制を整備します。

公共交通

試験運行による検討

地域公共交通計画に基づき、町内一部地域でデマンド交通などの試験運行に取り組みます。

滝観洞

安全確保と景観向上

観光客の安全確保と景観の向上のため、老朽化が著しい敷地内道路の舗装とガードレールの更新を行います。

保育

ICT保育業務支援

保育士の負担軽減と効率化、保護者の利便性を図るため、ICTの活用を検討していきます。

林業振興

林業応援隊の設置

林業事業体への新規就業を前提とした林業応援隊の設置を目指していきます。

空き家対策

空き家除去に補助金

空き家対策を進めるため、空き家実態調査を実施し、空き家の除去費用に対する補助金の交付を行います。

移住対策

首都圏イベント出展

首都圏における移住イベントへの出展や移住促進に携わる地域おこし協力隊を募集し、受け入れ体制を強化します。

3月定例会は、2月27日から3月10日までの12日間の会期で開かれました。町長施政方針演説、教育長教育行政演説が行われ、一般質問には6議員が登壇。町政諸課題について議論を交わしました。その他、令和6年度各会計補正

予算、条例の制定や改正、指定管理者の指定、訴訟上の和解に関する議決、令和7年度当初予算案など全32議案と発委1件を審議し、原案のとおり可決しました。発議1件は、賛成少数により否決となりました。

第7回臨時会 1月10日

6年度一般会計 補正予算

すみチケ
2025
発行業務委託
2360万円

消費者を下支え

長引く物価高騰の影響をうけている町民の消費の下支えを図り、町内事業者を幅広く支援するため、「使って応援すみチケ2025」を発行する。国の物価高騰対応地方創生臨時交付金を活用。商工会への発行業務委託料として、2360万円が補正計上された。



問

すみチケ2025のプレミアム

答

率など詳細はどうか。1セットあたり1万5000円で購入できる仕様。プレミアム率50%の事業を検討している。1世帯で最大2セットまでの販売としたい。

条例改正

給与制度 アップデート 各種手当を 見直しへ

人材確保へ対応

国、県の例に準じて、
一般職員の給与に係る
条例を改正。

主な改正内容

- ① 扶養手当の見直し
配偶者 65,000円
子ども 1万円
←（R8年以降）
- ② 管理職手当の見直し
配偶者 廃止
子ども 1万3,000円
上限割合を引上げ
- ③ 管理職特別勤務手当
支給対象の時間帯を
拡大
- ④ 再任職員の手当拡大

指定管理者の指定を 可決

住民交流拠点施設（まち家世田米駅）

指定管理者

一般社団法人 SUMICA
代表理事 村上 健也

指定期間

令和7年4月1日から

選定方法

令和10年3月31日まで（3年間）
選定委員会による書類審査と申
請者によるプレゼンテーション

指定管理料

694万円／年
（施設管理に係る人件費、通信
費、水道光熱費、簡易な修繕
費など）
※レストラン部門は含まれない



指定管理者

アトリエ・リトア

代表 大村 圭



住田町木工館

指定期間

令和7年4月1日から
令和12年3月31日まで
（5年間）

選定方法

選定委員会による書類審
査と申請者によるプレゼ
ンテーション

指定管理料

379万円／年
（施設管理に係る人件費、
通信費、水道光熱費、
簡易な修繕費など）

繰越明許費

7年度に事業を繰越し

繰越額 9846万円

繰越明許費とは…歳出予算の経費のうち、年
度内に支出ができない見込みがあるものを翌
年度に繰り越して使用できる経費のこと。

令和6年度 繰越事業（5事業）

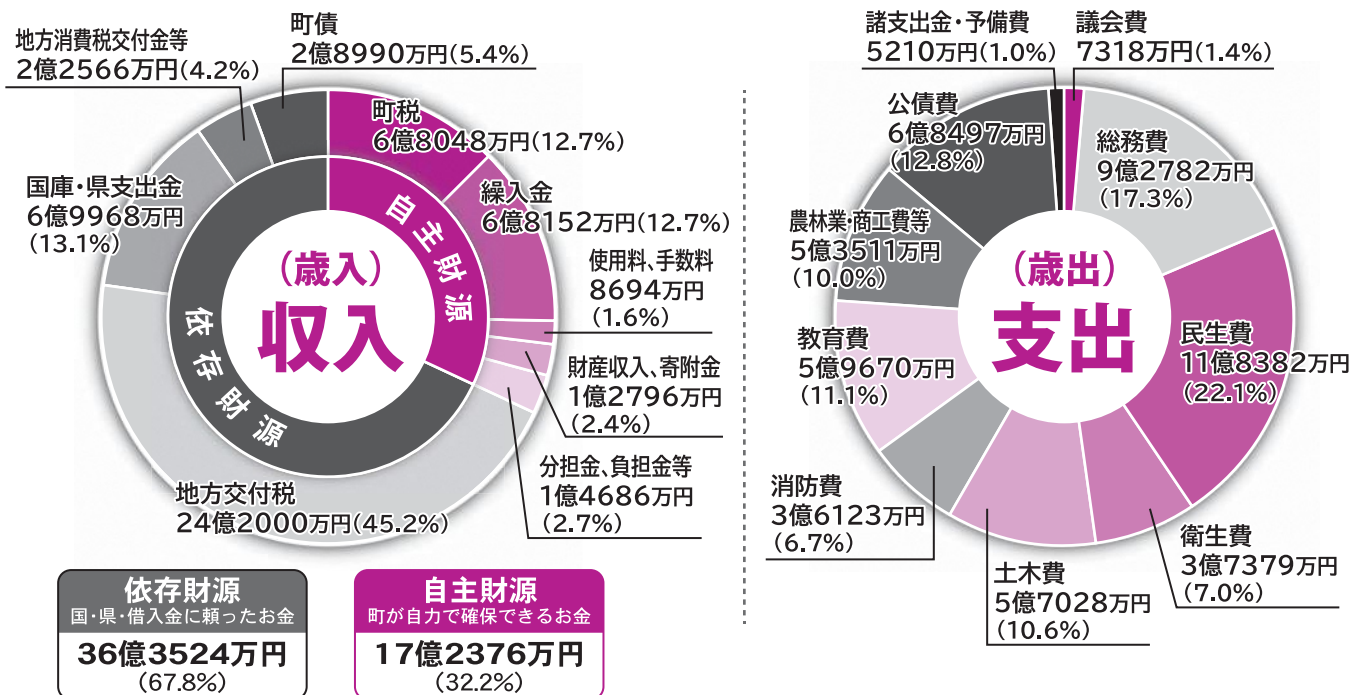
事業名	金額
議会タブレット導入事業	1399万円
物価高騰緊急支援給付金事業 （住民税非課税世帯を対象）	755万円
使って応援住田チケット2025発行业務 （発行业務委託料）	2360万円
道路等改良事業 （昭和橋架け替え工事に係る負担金）	4069万円
避難所環境改善事業 （プラグインハイブリット車購入など）	1263万円

災害に強い町づくり 防災対策を強化

消防費 総額 3 億 6123 万円

大船渡地区消防組合分担金 1 億 8187 万円
 防災対策事業 1 億 1573 万円
 非常時消防事業 5314 万円
 (消防団員報酬、消防団員準中型免許取得費補助金等) 他

新年度予算 一般会計 53 億 5900 万円



令和 7 年度 各会計予算

区	分	令和 7 年度	令和 6 年度	伸び率
一般会計		53億5900万円	51億6600万円	3.7%
特別会計	国民健康保険	6 億 7122 万円	7 億 171 万円	△ 4.3%
	介護保険 (保険・サービス)	10 億 1566 万円	10 億 70 万円	1.5%
	後期高齢者医療	9316 万円	8667 万円	7.5%
企業会計	簡易水道事業 (支出予算)	2 億 735 万円	2 億 3701 万円	△ 12.5%
	下水道事業 (支出予算)	1 億 6380 万円	1 億 5433 万円	6.1%
合計		75 億 1019 万円	73 億 4642 万円	2.2%

多様な町民生活を応援

次期総合計画がスタート

医

子育てを支援

産後ケア事業 47万円

0歳児から6ヶ月までの乳児を対象としたデイサービス事業を実施。専門職への託児で、お母さんも自分時間を。



食

最先端技術導入

高機能バイオ炭実証試験
事業委託料 236万円

鶏ふん炭を活用した東北初の高機能バイオ炭を生成。農作物の収穫量向上と、環境対策にも先進的な取り組み。

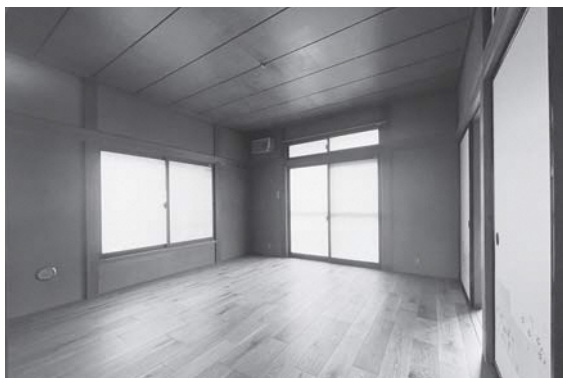


住

町営住宅の改修

町営住宅長寿命化
改修工事 1810万円

フローリング化や内窓設置で住みやすさを改善。老朽化による不具合を改修し、快適な生活を実現。



地域
経営

住民自治を重視

自治公民館等運営費
補助金 594万円

地域交付金(小さな拠点づくり事業) 400万円

住民自治の基本となる自治公民館活動を支援。独自の地域活動もさらに活性化。



予算審査ピックアップ

空き家対策

問 空家実態調査の目的は。
答 空き家は年々増加の傾向であり課題となっている。利活用と除却処理など適正管理を所有者へ促すための調査となる。

問 空家除去費用補助金（150万円）の目的は。
答 新規事業として、一定条件下の空き家除去費の補助金。条件や金額など詳しい要項を制定し進める。



△適正管理されている古民家空き家

簡易水道

問 簡易水道事業会計においては、給水原価302円/㎡に対し、給水単価269円/㎡であるが、今後の経営見通しは。
答 住田町水道審議会において、健全経営を維持するため、適正な料金体系の審議を行う予定である。



つく お
吉田次男さん
(下有住字十文字)

予算委員会を初めて傍聴。予算や事業目的を、明確で活発に議論する委員会でした。

白熱の予算審査

町民の声

新総合計画の下、将来を見据え、医・食・住に地域経営の観点で各種事業が計画されている。限られた予算と人員で、優先度に応じ、ニーズに合わせた予算が生まれ、住民福祉の向上、安心・安全な地域の実現を目指した意欲ある予算である。

将来を見据え

佐々木初雄議員

賛成討論

事業者支援

問 商品アップデートプロジェクト事業（318万円）の内容は。
答 町内事業者に商品づくりや事業支援を行う。ふるさと納税の返礼品化も含む。

問 事業承継支援事業（188万円）の内容は。
答 企業へのフォローアップに合わせ、事業承継支援や相談業務を行う。アンケートや個別相談の経費となる。

屯所改善

問 消防屯所簡易水洗工事の目的は。
答 要望に応じた屯所の環境改善をする。川口・坂本・新切の3屯所のトイレの水洗化工事を計画している。

文化財保護

問 民俗資料館改修事業計画（319万円）の内容は。
答 基礎部分でシロアリ被害を受けている箇所の改修である。室内のレイアウトの変更などは、運営委員と協議する。



△住田の宝が満載の民俗資料館

令和7年度
一般会計予算
ほか5会計予算
を可決

まちの未来を展望 地域の活性化予算

令和7年度の一般会計予算、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の各特別会計予算、簡易水道・下水道事業会計予算は、3月5日から7日の3日間にわたり、予算審査特別委員会（佐々木信一委員長）で審査しました。審査内容をいくつかお知らせします。採決では全予算が賛成多数で可決されました。

町民ホール

- 問** 町民ホールの音響対策調査業務委託の目的は。
答 ホールの音響は高齢者の方々に聞き取りにくい状況である。音響環境の抜本的改善を図るための調査であり、専門家に委託する。



△多種多彩に活用されている「町民ホール」

林業振興

- 問** 花粉の少ない森林への転換促進対策事業（3000万円）の内容は。
答 花粉の発生源対策推進事業として、関連施設設備や高機能機器などの整備に対する補助金である。



△花粉を抱えた林と杉のつぼみ



関係人口

- 問** 地域創造アドバイザー（566万円）の目的は。
答 地域活性化にかかる知見やノウハウなどを専門家から指導・助言を受け、地域活性化を図る。1名を予定。

- 問** 地域活性化企業人（441万円）の目的は。
答 主に3大都市圏に勤める企業人と契約し、地方課題に対し専門的知見を生かして地域活性化を図る。3名を予定。

昭和橋工事

- 問** 昭和橋架替工事負担金（1億5661万円）、工事の今後は。
答 現在、橋脚の工事中。次の橋桁工事に対する町分の工事負担金である。令和8年3月31日までの工期予定は、資材の調達などの事由のため延期される。



△工事中の昭和橋

和解案を可決

三陸木材・ランバー訴訟

3月10日の本会議に上程された訴訟上の和解に関し議決を求める議案を可決した。

訴訟に至った経緯

平成18年から20年にかけて、農林業振興資金貸付金総額7億9000万円の融資を受けていた三陸木材高次加工協同組合及び協同組合さんりくランバーが、令和2年7月末に破産手続きを開始。

町は貸付に係る保証契約に基づき、連帯保証人とその相続人計19人を相手方とし、融資の未返済分や遅延損害金など合わせて約10億5000万円の支払いを求め訴訟を提起した。

訴訟の状況

令和2年10月の訴え提起後、相手方3人に判決が出たほか相続放棄などがあり、12人と係争。計31回の審理が行われた結果、本年2月に盛岡地裁より双方へ和解案が提示された。

和解案の主な内容

○相手方は保証債務履行義務を認め、12人で合わせて1億8948万円を町に支払うこと。

○町は和解金が遅延なく支払われた際は、残額を免除すること。

○相手方は、町に対し資金の貸し付け及び保証契約の手続きに瑕疵ないし違法性が無いことを確認すること。

採決 発議案2件を

件名	発委第1号 住田町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	発議第1号 選択的夫婦別姓制度の導入に反対する意見書
提出者	議会運営委員会 委員長 林崎 幸正	水野 正勝 議員 他3名
提 案 旨	刑法などの一部改正及び同法の改正施行に伴う関係法の整備。 ICTの活用による行政手続きに係る関係者の利便性の向上と行政運営の効率化を図るため、デジタル社会形成基本法などの一部改正による行政手続きにおけるマイナンバーの利用などに関する法改正に伴い、所要の整備をする。	選択的夫婦別姓制度の導入により、別姓世代が数代にわたって続けば家系は確実に混乱し、日本のよき伝統である戸籍制度や家族制度は瓦解する。祖先と家族・親と子を結ぶ連帯意識や地域の一体感、日本人の倫理観や道徳観にまで悪影響を及ぼすことが懸念される。社会的混乱を招く恐れのある選択的夫婦別姓制度を法制化しないよう要望する。
採 決	可 決	否 決

賛否の分かれた議案	金野 千津	荻原 勝	佐々木初雄	佐々木信一	瀧本 正徳	村上 薫	阿部 祐一	林崎 幸正	菊池 孝	高橋 靖	水野 正勝	佐々木春一	議決結果
発議第1号 選択的夫婦別姓制度の導入に反対する意見書	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	一	否決

選択的夫婦別姓

反対討論

選択肢増やすべき

金野千津 議員

社会情勢の変化に伴い、夫婦別姓が必要という意見が増えている。国連の女性差別撤廃部会でも日本に制度導入を勧告。同性を望む人は同性を、別姓を望む人は別姓を選択できる制度が必要と考える。

賛成討論

社会秩序の維持を

瀧本正徳 議員

現在は旧姓の通称使用が幅広く適用され、女性活躍や婚姻などに支障や不便はない。率先して夫婦や子どもが姓を選べる制度を勧める意見に将来の不安を感じる。大人の都合で子どもに悲しい思いをさせるべきではない。

3月議会

登壇！ 一般質問

町の考えを問う

次期総合計画、林業 学校給食などを議論

ページ	質問者 (登壇順)	質問項目
10	むら しみ 村上 薫	①次期総合計画と神田町政 ②町政施行70周年
11	おぎ わら 荻原 勝	①観光振興 ②ふるさと納税の返礼品
12	きん の 金野 千津	①世田米地区公民館とまち家世田米駅の 管理状況
13	たき もと 瀧本 正徳	①次期総合計画の「人口目標」にかかる施策 ②過疎地域持続的発展計画の実施状況
14	あ べ 阿部 祐一	①林業の振興策 ②農業の振興策
15	はやしざき 林崎 幸正	①経済対策 ②子どもたちの基本的な生活習慣

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に対し、施策の状況や将来の方針など、所信や疑問点をたずねることができる重要な議員活動の場です。1回目の質問事項は、事前に執行機関へ通告されており、全項目を一括して質問。2回目以降の再質問は、1問1答方式で行っています。持ち時間は、答弁を含めて一人あたり60分です。ここからは、主な質問と答弁を要約した内容を登壇順にお知らせしていきます。

全文記録（議事録）は、役場庁舎2階の総務課と町のホームページ上で閲覧できます。
(QRコードで議会ホームページへ直接進むことができます)

▼QRコード



問 町制70周年記念事業は

答 既存事業に冠付け新企画



むらかみ 村上 かのる 薫 議員

町の考えを問う

町制施行70周年。
先人のこれまでの
町づくりに改めて
思いを致す。

議員のつぶやき

問 今年、昭和30年4月1日に世田米町、上有住村、下有住村が合併し住田町になってから70周年を迎える。記念事業の計画を伺う。

答 町長

新規事業ありきではなく、既存事業を活用し盛り上がるよう工夫を凝らす。夏まつり、産業まつり、まちづくり大会などに「70周年記念事業」の冠を付け、新たな企画を盛り込む予定。

問 記念事業の一つとして、現生活改善センターに代わる生涯学習情報・交流拠点、図書

情報・交流拠点、図書

室機能を持った生涯学習センターを建設してはどうか。

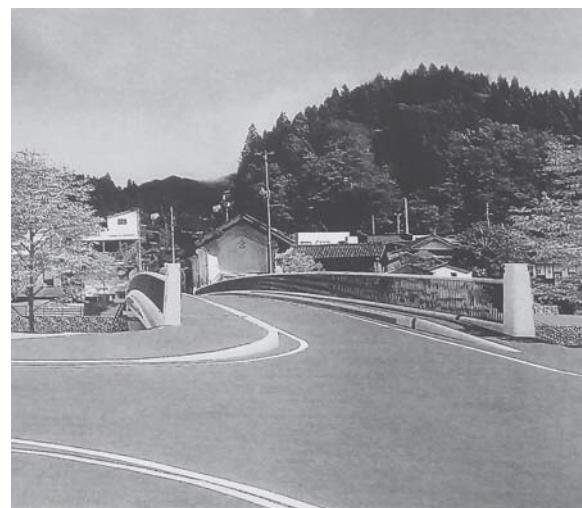
答 町長

施設の建設は予定をしていない。生活改善センターを含めた公共施設は、老朽化しており「公共施設等総合管理計画」に合わせ施設更新や統廃合などの検討を進める。

問 記念式典の計画は。

答 町長

記念式典は計画してないが、表彰式典として開催し、町政に対して功績のある功労者などを称えたいと考えている。



△世田米の中心にて、住田町の歴史と文化を象徴し、地域とともに新たな歴史を育む橋
(新・昭和橋完成予想図)

問 総合計画の個別計画となる「観光振興計画」が町の発展に不可欠と訴えてきた。滝観洞観光センターの建て替えにより宣伝効果が発揮されている。この機を逃さず計画を策定すべきではないか。

答 町長

観光分野の主要施策推進に当たっては、具体化するための部門別計画が必要と捉えている。7年度上期を目標に策定する。

問 観光振興計画が必要

答 7年度上期策定へ

問 町の新しい顔にシンボルになる仮称・新昭和橋完成を見据えた活性化をどのように考えているか。

答 町長

現時点で架け替え後の昭和橋周辺の活性化計画は無いが、環境の

変化を見据え、観光や住民活動など様々な面で、今後のあり方を検討していく。

問 「脱炭素先行地域づくり」計画を策定することが、当町の強みの再確認になると考えるがどうか。

答 町長

カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けて、町内全域を対象とした「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定を、令和7年度予定している。

※その他の質問項目
・総合計画達成度の分かり易いランク付け

問 潮風トレイル取組みを

答 追加指定を求めている

問 令和6年度の滝観洞の集客が1万7400人を超え、東日本大震災後で最多となった。さらなる振興のため、

JR釜石線の活性化にもつながる滝観洞周辺の環境整備を進めるべきと考えるがどうか。

答 町長

滝観洞観光センターは、受付棟を令和5年度に整備し、令和6年4月27日にリニューアル

ルオープンしている。

JR秋の観光キャンペーンで滝観洞が取り上げられたこともあり、

JR釜石線利用を含め多くの来場があった。

滝観洞周辺の環境整備は、指定管理者である住田観光開発株式会社との定期的な話し合いのほか、地域住民とのワークショップの中で出た様々な意見を踏まえ、取り組むたい。

問 当町も、みちのく

潮風トレイルや日本遺産「みちのくGOLD浪漫」に取り組み、広域観光を進めるべき。

答 町長

みちのく潮風トレイルは、本町も沿岸部の一員であり追加指定を求めている。五葉山周辺や気仙川沿いコースを選定しPRする。日本遺産は、近隣市の動向を注視していく。



おぎわら 荻原 まさる 勝 議員

インバウンドの8割が電車活用派。上有住駅から滝観洞間のさらなるイメージアップを。

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 どうする返礼品の充実

答 選ばれる特産品開発で

問 町長演述に、「安

定的な財源確保の一環として、ふるさと納税による寄付金の増収を目指す」とあるが、どう捉えているか。

答 町長

ふるさと納税は、返礼品に魅力や付加価値があれば、納税額の増加やリピートにつながっていくと捉えている。

問 「返礼品として取

り扱っていない町の資源を柔軟な発想で掘り起こし、ラインナップを充実させる」とは。

答 町長

現在、当町の返礼品数は、およそ20業者120品目である。令和6年度からは、ふるさと納税業務の外部委託を行ない、既存返礼品のブラッシュアップや新規返礼品の開発など、より充実したラインナップに取り組んでいる。今後、町を広くアピールし、選ばれる特産品開発、体験型あるいはクラウドファンディング型の商品づくりも含めた取り組みを進めたい。



△体験型の魅力が広まり認知度が高まっている滝観洞（探検コース）

問 地区公民館 あり方は

答 まち家 相乗効果に期待



議員 津千 野金

町の考えを問う

まち家世田米駅の土蔵、安全性の確保はもちろん、見た目の改善も必要では。

議員のつぶやき

問 世田米地区公民館がまち家世田米駅に併設されている。公民館活動に支障があるという声をどう捉えるか。

答 教育長 地区公民館主催の各種講座や教室開催時にはまち家世田米駅との日程調整が必要、椅子が使えない和室では公民館活動のやりにくさがあると捉えている。

一方、地区公民館主催の講座や教室、小さな拠点づくり事業、まち家世田米駅主催のイベント開催時にはお互いが助け合えるメリットもあり、現在の形を継続していく。

問 世田米地区公民館と中央公民館が置かれている生活改善センターは、距離も近いことから、施設を1ヶ所にとまとめて整備する考えはないか。

答 教育長 まち家世田米駅の完成と同時に、世田米地区公民館を併設したのは、両者の活動が相乗効果となり、世田米商店街の賑わいに繋がると考えたからである。

公民館には、地域住民の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する目的がある。また、中央公民館は生涯学習を推進する中心として、



△「まち家世田米駅」適切な管理で、外部環境も整備して、より居心地の良い住民交流施設に

町全体に係る学習機会を提供している。

まち家世田米駅は住民交流拠点施設として住民交流による賑わいと回遊性の高い環境を整備するための拠点としての役割を担っている。それぞれの設置目的は異なるが、既存施設の有効利用や職員業務の効率性を考慮し、現在の状況を継続していきたい。

問 まち家世田米駅の環境整備は、指定管理者に任されている。草取り、樹木の剪定なども業務内容に記載されている。現状の管理状況はどうか。

答 町長 住民交流拠点施設は利用者に気持ちよく使って頂けるような施設であるべき。至らなかつた点については毎月行う定例会での意見交



△壁の崩れも目立つ土蔵

換を踏まえ、指導を徹底していく。

問 まち家世田米駅にある未整備の土蔵。今後の見通しはどうか。

答 町長 4棟ある土蔵のうち、1棟のみ改修済み。

今後は、未改修の土蔵の危険箇所への立ち入りを制限し、利用者の安全を確保するとともに、有効な保存改修に向けた情報収集に努めていきたい。

問 どうする町の方向性

答 住田町は自立・持続で

問 町の将来の方向を示す最上位の計画である次期総合計画策定に合わせ、自立・持続の方向性を確認すべきと思うがどうか。

答 町長

自立・持続を望む町民の声や健全な町財政の状況など、合併の検討を要する大きな事由はない。引き続き住田町として自立・持続する姿勢である。

問 超高齢社会を迎えた町の暮らしは、生涯現役の生活と社会参加、活発な交流のある地域づくりにあると思うが。

答 町長

次期総合計画でも健康寿命延伸や地域活性化に取り組む。特に人づくりやコミュニティ活性化は、重点的・横断的に取り組むプロジェクトとし、総力を挙げる。

問 人口対策の一つに、若者が就きたいと望む職場の確保がある。地場産業や企業誘致に支援策を提示し進めるべきと思うがどうか。

答 町長

若者が働く場の確保や職場定着を促進する助成制度を整備。誘致企業支援として、雇用促進奨励金や固定資産税課税免除制度を整備している。

用語解説

※ 過疎対策事業債とは
過疎地域の持続的発展のための地方債。施設整備や地域医療確保、集落維持などの財源で、元利償還金の7割が後年度に交付税措置され、実質負担は3割。

問 過疎計画の実施状況は

答 概ね計画通りに進む



△将来を見据え整備を進めたい庁舎周辺

問 令和7年度は過疎地域持続的発展計画の最終年度となる。当町の計画実施状況はどうか。

答 町長

この計画は、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、令和3年9月に議会の議決を経て作成した。計画には移住・定住や産業振興、社会や生活環境整備など、自立促進策区分ごとに、対策の方向性と事業内容を定めている。

登録した事業は、概ね計画通りに実施されていると捉える。

問 特別措置法は期限がある法律である。過疎対策事業債は有利な制度であり、生活改善センターなど計画登録事業を進めるべきと思うが。

答 企画財政課長

計画には幅広く事業を登録しており、着手できていない事業もある。公共施設等総合管理計画の中で検討する。

まさのり 正徳 議員
たきもと 瀧本

この町をどんな町に、どんな暮らしをするか皆で思い、語る時を感じている。

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 どう活かす森林意向調査

答 私有林モデル地区を選定



あべ ゆういち 議員
阿部 祐一

町の考えを問う

自力で森林を管理できない人が増えている。航空レーザ測定の成果を大いに活用すべきだ。

議員のつぶやき

問 町内の森林所有者を対象とした森林経営に関する意向調査が実施された。その調査結果はどのようなものか。

答 町長

調査は企業や分収造林組合などを除く、全ての森林所有者が対象。所有林の整備状況や、今後の森林経営に対する意識などを伺った。

所有林の今後のあり方では、「引き続き森林の管理に参与していきたい」との回答割合が2割弱。「管理を他に委ねたい」「分からない」が7割に及んだ。結果を重く受け止めている。

問 航空レーザ測量による町内の森林資源解

析が完了した。今後、このデータをどのように活用していく考えか。

答 町長

航空レーザ測量により、立木の資源量や地形状況などの情報を全町的に入手できた。情報を森林所有者ごとにまとめ、ペーパー化し、一定の森林区域を私有林モデル地区として選定。森林組合とも連携しながら所有者へ出向きたい。その際には、補助事業メニューを提供しながら、所有林の管理方針の相談にあたっていきたい。



△高機能バイオ炭の開発研究を進めている企業が、町内空き店舗を活用し製造工場を設置

問 バイオ炭の取り組みは

答 試験圃町内4カ所に拡大

問 畜産と耕種農業との

の耕畜連携を目指しているが、バイオ炭に関わる取り組み状況は。

答 町長

※高機能バイオ炭は、名古屋大学発のベンチャー企業や全農などと連携して進めている。

当町には、原料となる「鶏ふん炭」が年間を通して生産されている。そこに着目し1年以上前から情報交換を行い、取り組んできた。

7年度はどのような取り組みなのか。

6年度に実施した町内3カ所の圃場試験では、概ね発育・成長の効果が表れた。7年度は、町内4カ所に圃場を拡大し、引き続き試験を行う。企業では、町内の空き店舗を活用し、プラント製造の準備を進めている。高機能バイオ炭の活用と普及を進め、Jクレジットも視野に入れて取り組んでいきたい。

用語解説

※高機能バイオ炭

もみ殻や畜ふんなどを原料とし、微生物を付着させ培養したもの。土壌改良や二酸化炭素排出量の削減が期待される。

問 プレミアム券 早期実施を

答 7年度当初に施行

問 令和6年度一般会計補正予算のプレミアム商品券事業は、規模を拡大し、早期に実施すべきと考えるが。

答 町長

プレミアム商品券は、国の物価高騰対応地方創生臨時交付金を財源に実施する。同財源を活用した他事業で不利益が発生した際には、その財源も活用した実施を見込む。申込みが

予算額を超えた場合には、一般財源の追加が必要と捉えている。事業は商工会と連携し、印刷などにも時間を要することから、繰越しを行い令和7年度当初に実施をしたい。

答 町長

物価高騰などに係る経済対策は、国全体のこととして取り組むべきものと捉える。厚労省では、業務改善助成金やキャリアアップ助成金による最低賃金の引き上げに伴う支援を強化している。

問 物価高騰や賃金の引き上げにより、中小企業の経営は厳しい状況にある。支援策を講ずるべきと考えるが。

当町では、若者の働く場の確保や職場定着を促進する助成制度による支援を継続したい。



はやしざき さちまさ
林崎 幸正 議員

積極的な町独自の経済対策で、住民と事業者を支えていくべきだ。

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 給食無償化 実行すべき

答 独自策では考えていない

問 全国約3割の自治体で学校給食が無償化されている。当町でも実施すべきと考えるが。

答 教育長

学校給食費の無償化を希望する意見を保護者の数名からいただいている。食は子どもの成長の根幹であり、保護者が責任と負担をすべきことと考え、町独自策としての無償化は考えていない。

岩手県町村会による県への要望活動や国における無償化への動向を注視していきたい。



△下有住地区公民館を会場に、放課後子ども教室や花たばの会が中心となって初開催となった「みんなの食堂」

問 昨年、町内有志により「みんなの食堂」を実施。こども食堂は、全国的に運営資金や人材不足が課題となるが、当町の現況はどうか。

答 町長

みんなの食堂は、令和6年8月に世田米地区、12月に下有住地区でプレオープン。世田米で約100名、下有住で約40名が参加し、食材も町内の方から提供があった。子ども達が地域の皆さんと交流でき、とても良かったと伺っている。

回会し
9時
第9回臨時
あ

農林業振興資金貸付基金

廃止条例を可決

木工団地訴訟の和解に伴い

第9回臨時会は、3

月24日に開催され、三

陸木材高次加工協同組

合と協同組合さんりく

ランバーの破産に係る

貸付金の返済を求める

訴訟が和解したことに

伴い、2事業体の資金

の借入先となっていた

農林業振興資金貸付基

金の廃止を審議。基金

廃止に伴い、基金残高

が一般会計へ繰り入れ

られる。

令和6年度一般会計

補正予算には、避難所

の機材購入費などが計

上され、全て原案のと

おり可決した。

農林業振興資
金貸付基金の
廃止理由

・平成20年1月の旧木
工団地2事業体への
貸付以降、基金の貸
付実績がない。

・基金設置当時と比較
し、融資制度や補助
事業の充実など、資
金確保に係る状況が
変化している。

農林業振興資金貸付基金残高 一般会計へ繰り入れ

農林業振興資
金貸付基金の
主な運用状況

・平成18年運用開始
(基金額10億円)

・平成18年4月から平
成20年1月にかけて、
2事業体へ計7億9
000万円を融資

(基金残高
2億1000万円)

・これまでに2事業体
より計2172万8
265円が返済

(基金残高
2億3172万8
265円)

問 和解金の納入後
すみやかに住民

への説明会を開くとし
ているが。

答 貸付当時の状況
説明も含めて、

住民説明会のあり方に
ついて議会と協議し、
取り組む。

避難所運営の充実へ

備品購入費 1221万円

6年度一般会計 補正予算

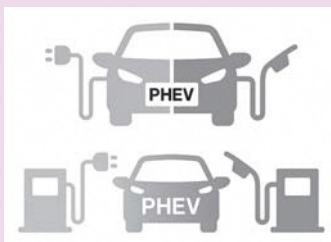
電源車両を導入

問 防災対策費とし
て補正計上され

た備品購入費の詳細は。

答 避難所用の資機
材として、スポッ

トエアコンを10台、自
動ラップ式の災害用簡
易トイレ15台を整備す
る。備品購入では、屋
外用の物置を1棟、プ
ラグインハイブリットの
車両を1台導入予定。



問 プラグインハイ
ブリットの車両

を購入する背景とねら
いはどうか。

答 災害時には停電
が発生すること

も想定される。その際、
発電機以外の設備とし
て、非常用電源を備え
た車両が避難所運営な
どでは実用的と考える。
今回、国の交付金を活
用し、導入する。

人事異動 議会事務局

おぎの えり
係長 荻野 映理
(住民税務課から)

たかはし きょうみ
係長 高橋 京美
(農業委員会事務局へ)

住田高校生と 貴重な経験を語り合う すみた あつもりミーティング



△意見交換会には、住高生、議員、教育長、住高校長が出席

住高生が活動報告

2月4日、初の試みとなる住田高校生と議員との意見交換会が生活改善センターにおいて開催されました。住高生側からは各学年の代表1名が参加。文科省の研究開発学校の指定を受けた町独自教科「地域創造学」などに関する活動報告がありました。その後、和やかな雰囲気の中、活発な意見交換会となりました。

小中学校時代に何度も足の手術やリハビリを経験したことから、住田高校では、怪我予防をテーマに探究活動を行いました。ストレッチ運動の前後の見方などについて地域の理学療法士から直接アドバイスを受け、将来への視野が広がりました。

視野が広がった

人や自然、町全体が学びのキャンパス

おいかわももか
及川桃花さん（令和6年度卒業生）



自分から行動しなければ、変えられない

こんのそうすけ
紺野爽介さん（3年生）

中2から高1の期間には、自転車による町の課題を探索活動をしてきました。その中で、道幅が狭くカーブが多いことに気づき、その解決行動として、町にカーブミラー設置の要望書を提出しました。設置に至りませんでした。が、今後に向け勉強になりました。

ミラー設置要望

住高に来て、地域創造学を学ぶ中でアツモリソウを知り、その魅力を広めたいという想いから「アツモリソウ同好会」を立ち上げました。実際にも、町からバイオ苗をゆずり受け、栽培するところから取り組んでいます。

アツモリソウを

生徒一人ひとりの個性を出させる高校来て良かった

こんのけいと
金野恵人さん（2年生）



他の意見や要望

・住高は給食費が無償化され、通学費も補助があり助かります。

・英語検定と同様に漢字検定など、他の学習分野にも補助を。

・クップを観光資源に。

町づくりのヒント

議長 佐々木春一

住田高校の魅力や取り組み、学びの成果、将来の目標について生の声を聞くことができた。高校生の視点を今後のまちづくりのヒントにしたい。

今後も形式にとらわれず生徒と関わる機会を設け、若者の政治への関心を高めるきっかけにしていきたい。

議会 レポート 活動報告

この度は、総務教民常任委員会の所管事務調査項目「高齢者等の移動手段確保策」および産業経済常任委員会の所管事務調査項目「地域資源を活用した特産品開発」に係る勉強会や意見交換会の内容について、お知らせします。

車両と 運転手がカギ

令和7年1月21日、

大股地区の買い物ツアーなどに関する勉強会が開催され、当委員会も出席しました。

大股地区の実情

・買い物ツアーが始まり8年が経過。運営は社協から地元組織に移行された。

・財源は、小さな拠点づくり交付金。

・スタッフは地区公民館主事、運転ボランティアなど4名。

・使用車両はそれぞれの自家用車。

△スマイル大股の「買い物ツアー」

大股地区の取り組みは先駆的。課題である車両やスタッフ確保の条件整備が必要では。

委員のひと言

参加者の意見

・月2回無料運行。行き先は町内店舗など。
・利用者は事前登録制で現在6名。

・利用者の車酔いへの対応や、自家用車の維持管理が大変。

・イベントへの車両活用にも要望があるが、運用には課題が多い。

総務教民常任委員会
委員長 荻原 勝

コミュニティバス運行 地域の願い

令和7年2月18日、山谷地区住民の移動手段確保に関する意見交換会を実施しました。

参加者の意見

・坂道が多く、冬期間の移動手段が大変。
・知人の車は頼みにくく、病院通いも控えがちになる。

・地域診療センターへの通院のためにも、コミュニティバスの

交通手段最重要

山谷地区は限界集落に。病院、金融機関、買物に行く交通手段の確保が最重要。



いずみ きんいち
金一さん
(世田米字野形)

山谷地区への運行を。車両は、ワゴン車のような小型のものでよい。

・山谷地区は高齢者が多いので、万が一のことを考えると、支え合い交通の運転手探しは難しくなる。

委員のひと言

山谷地区のみならず町内全体の利便性を考えたコミュニティバスの見直しを。

足確保同じ思い

山谷地区のみんなです。足の確保について課題を共有できたので良かったです。



こんの たつこ
紺野タツ子さん
(世田米字野形)



△町コミュニティバス

産業経済常任委員会
委員長 佐々木 信一

害獣を町の財産へ

ジビエ加工について
令和7年1月18日、獺友会、大槌町のモミジ株式会社との意見交換会を行いました。

参加者の意見

- ・現状では、捕獲された野生鳥獣のほとんどは、埋設や焼却処分されている。
- ・埋設状況によっては、クマが掘り返して餌となる場合もある。

・シカは害獣だが、それを町の財産に変えることができる。

・ジビエカーの導入により、捕獲したシカの肉を一次加工し、大槌町の処理場へ運ぶことができる。

委員のひとこと

毎年約1000頭が捕獲されているシカ。ジビエの商品化で有用な地域資源としたい。

連携で特産品化

町内シカ肉の特産品化には、町の支援や商工会、観光協会などとの連携が必要。



菊池陽介さん
(まち家ケラッセ)

どぶろくを返礼品に

どぶろく製造について令和6年10月16日、町内有志者3名との意見交換会を行いました。

参加者の意見

・遠野市ではどぶろくで多くの人を呼び込んでいる。

・酒づくりに取り組むには、規制が多く、

難点がある。個人ではなく、組織的な取り組みが必要では。

・酒づくりは、設備投資が高額となる。

委員のひとこと

すみたの米と水、麴で作った「どぶろく」が実現できれば、ふるさと納税の返礼品に。

町産どぶろく

町内の農家が自ら育てた米を原料に、町産のうまいどぶろくを造り、呑みたい。



紺野敏郎さん
(世田米字竹ノ原)



議会を傍聴しよう!

町議会は誰でも傍聴できます。次の6月議会の予定は下表のとおり。
生活改善センター議会棟の入口から案内に従って傍聴席へお入りください。

令和7年3月
議会の傍聴者は
13人でした



6月議会は

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

住田テレビ放映もどうぞ



本会議や一般質問の様子は、住田テレビの「議会放送」でもご覧いただけます。
放映時間は午後6時からです。

パート
21

わたしの未来

住田町の子どもたちが
将来の夢を語る
コーナーです。
自薦・他薦も大歓迎。申し
込みをお待ちしています。

動物たちを幸せに

私の将来の夢は、**動物を助ける仕事に就くこと**です。犬や猫の殺処分がなくなるように一生懸命に行動して、動物たちに喜んでもらいたいと思っています。今のうちに動物のことについてたくさん学んで、夢を叶えられるように頑張りたいです。



有住小学校 6年
こむかい ひなた
小向 陽菜多
(上有住字二反田)

農業をやってみたい

僕は、家の庭でちょっとした野菜を育てています。お父さんに教えてもらいながら育ててみました。クワを使って穴を掘ったりしました。クワはとても重くて使うのが大変でしたが、やってみて楽しかったです。将来は、**農業をやってみたい**です。



世田米小学校 6年
さとう じょうめい
佐藤 浄明
(世田米字川向)

編集後記

副委員長 荻原 勝

▼近隣市で大規模な林野火災がありました。被災者の皆さまにお悔みとお見舞いを申し上げますと共に消防関係者の皆さまに敬意と感謝を申し上げます。

▼今回の3月予算議会は、町の最上位計画である町総合計画（5年間）策定の時期と重なり、議会冒頭の町長演述、議会の質問・審議もその内容で多くが占められました。住民自治にとって重要かつ身近な内容が多いので是非、この議会だよりでチェックを。

広報編集常任委員会

発行責任者



議 長	佐々木 春 一
委 員 長	水 野 正 勝
副委員長	荻原 祐 勝
委 員	阿部 祐 一
	村上 薫 徳
	瀧本 正 徳
	金 野 千 津

表紙の写真



世田米保育園

肌寒さが残りつつも、お日様の暖かさを感じるようになった3月。世田米保育園の園庭では、元気いっぱい遊ぶ子どもたちの姿がありました。先生と鬼ごっこをする子や秘密基地を作る子、滑り台をする子など、全力で遊ぶ子どもたちを追いかけ、私もすっかり汗だくになりました。春はもうすぐそこ。笑顔いっぱい遊ぶ子どもたちの姿が、今から目に浮かぶようです。